

2023 年度 研究部 活動発表会 記録

記録者:1 班 石堂 純子

実施日 :令和6年 2月8日(金) 天候:晴れ
場 所 :天王寺区民センター ホール
時 間 :10:00 ~ 16:00
出 席 :24人(1班 7名、2班9名、3班8名)
発表者 :代表 柴田享子
実施内容 :研究部 2023 年度の活動発表

発表開始時刻がくると、即、各研究科の発表に入った。

午後の最初に金戸代表から京都大学の研究室から来られた方の紹介とその来賓からの挨拶があった。

<午前の部 10:10 ~ 12:10 >

(1)自然と環境科 「六甲山系グリーンベルトの森づくり活動」

六甲山系グリーンベルトの現状と保全活動13年間のまとめの紹介

地道な植生調査を地域の方々と共同活動を展開してきた

後継者のない現状のため、世話人活動を停止せざるを得ない現状がある。

(2)総合科そら組 「そら組は青春だ！」をテーマに活動してきたことを新人を中心に発表

野草料理(タンポポ等)、宿泊研修(伊吹山、大山方面)、葛城古道

全員参加を基本にしてみんなで相談、決定し楽しく活動している

(3)昆 虫 科 「池田市・細河地区における昆虫相の調査と経年変化」

2022 年度調査活動の報告と 10 年前の調査からの変化を考察する」というテーマで発表。公的機関と接点を持ち、情報を共有しつつ、細河地区の生態系を見てきた。

(4)自然観察・工作科 自然観察・自然工作・社会貢献

自然の営みの不思議さ、素晴らしさに感動し、自然の材料から創作(工作)する楽しさと喜びを大切にしながら、「いつも楽しく」をモットーに活動している。

日常の自然観察、自然工作の活動を通じて、新しい課題を見出し学習しながら、各種イベントにも積極的に参加し、子供達や一般の人達に「伝えられる人の立場」に立って、共に学び伝えていく事を主眼において実践

(5)植物科 「川久保溪谷の植物たち」

グループに分かれ、活動している(万博・川久保・室池・南港・武田尾武庫川・花・緑とつる・シダ植物同好会)。

定点観測地「川久保溪谷」の植生を過去の記録と比較してまとめた。

<午後の部 13:10 ~ 16:00 >

(6) **自然観察・化学実験科 「科学の不思議とおもしろさ」** 科の紹介と一年間の歩み

科学の目で自然を観察し、実験を通して物事の仕組みを学習している。

学んだことを活かし、「親子で楽しむ科学実験教室」などを通じて、未来を担う子どもたちに自然や科学の「不思議さ」、「面白さ」を伝えている。

胞子の観察、ペットボトルロケット、ウミボタル等の実験紹介

(7) **野鳥科 服部緑地公園ラインセンサス調査 19年間の記録から**

スズメは減ってきた？カラスは増えてきた？をテーマに長年経過観察を行ってきた。たくさんの種類の鳥をリストアップし、月1回観察をしてきた。

死ぬまでバードウォッチングの気構えでいる。

(8) **インプリテーション科 木でも草でもないタケ(竹)の不思議**

自然の営みの不思議さ、素晴らしさに感動し、基本理念「私たちは身近な草や木の観察で得た自然の不思議や魅力・感動を、多くの人に対話を通して伝えていきます。」をモットーに、活動している。

竹の特徴や特性を子どもと教師の対話方式で紹介。

(9) **自然と文化科 科の活動紹介と植生調査報告「西谷の魅力と危機」**

科の活動実績の報告と宝塚西谷の植生調査の続編—この地区の魅力と希少種の絶滅危機種について説明

カジノキ モウセンゴケ オケラ カキランを中心に紹介。

(10) **森と海の自然科 「河内平野のおいたち」**

縄文時代入り海であった河内平野が、淀川・旧大和川の堆積物により平野となるまでの変遷を活動で訪れた地域と結びつけ、報告。

(11) **森林文化科 「竹やぶを広葉樹林に変えてきた」**

天王山放置竹林の広葉樹林転換活動を始めて9年間の経過と現状、そして、今後の展望についての報告。

放置竹林をコナラ、アベマキ、アラカシ、ヤマモモ等の樹木に変えていく取り組みでの苦労困難と植え替えていく中で温暖化の影響を強く感じたと報告。

「天王山の桜咲くまで死ねません」の一句に感動。

(12) **水生生物科 「大阪周辺の河川の自然度」**

水生生物科がメインにしている生物調査の結果から、指標生物を抜き出し河川の自然度を比較したものを報告。

* どの科の発表も、長年の経験に基づいた力の入った研究で、話に聞き入りました。

気になったのは、後継者問題です。折角環境にいい取り組みをしておられるのに、人手不足、後継者不足で活動縮小、活動停止をせざるを得ないのは残念と思いました。

	<p>その3・自然工作</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 自然素材を「切る・削る・押し葉・押し花…」等した材料で、新形態を組み立てることが自然工作です。 ➤ 毎月のテーマを決め、古典的なおもちゃから流行のフィギュアまで何にでも挑戦します。 ➤ 活動の成果を利用した子供向け自然工作教室を毎月開いています。 	
<p>発表の柴田さん</p>	<p>活動報告</p>	<p>ファミリーでの自然観察</p>
		
<p>ファミリーでの自然工作</p>	<p>干支工作の様子</p>	<p>発表会会場の様子</p>